

横浜市市長

平成 31 年 2 月 13 日

1 提案者（団体）

氏名（団体名）	石川 源七（常盤台地区連合町内会）
住所 連絡先	

※1 提案者が団体の場合は、団体の概要（代表者、主要構成員名簿、法人格の有無）が分かる資料を添付する。

2 基本構想の素案（明記すべき事項）

<p>対象地区の位置及び特性 対象地区：羽沢横浜国大駅周辺地区（羽沢横浜国大駅から横浜国立大学間の徒歩圏） イ：羽沢横浜国大駅は、東日本旅客鉄道、東京急行鉄道、相模鉄道の三線が相互直通をし、交通結節点となる。 ロ：羽沢横浜国大駅、横浜国立大学間は横浜市常盤台地域ケアプラザや横浜国立大学、横浜保土ヶ谷中央病院があり、日中に高齢者や身体の不自由な方、大学生を含む様々な方が利用する施設が集積している。 ハ：今回の対象地区は、神奈川区と保土ヶ谷区の区境地域であり、神奈川区羽沢地区と神奈川区区政推進課、保土ヶ谷区常盤台地区と保土ヶ谷区区政推進課の連携のもとに進めていくユニークなケースとなる。 ニ：病院や大学等が点在しているため、施設間の道路に段差があることや歩道などが狭い等危険な箇所が複数ある。 ホ：新規事業の整備途中での構想提案となる</p>	
<p>提案の理由と目的 羽沢横浜国大駅、横浜国立大学間は、横浜市常盤台地域ケアプラザや横浜国立大学をはじめとする多様な施設がある。そのため、高齢者・大学生を含む様々な方が地区外からも集まる地区であることから、バリアフリー基本構想の作成を提案する。</p>	
生活関連施設の選定	詳細について、施設名称はP6、7で、選定理由についてはP11～14で示しています。
生活関連経路の設定	詳細について、位置と経路名称はP17で、選定理由についてはP14～16で示しています。
重点整備地区の範囲の設定	羽沢横浜国大駅から横浜国立大学を直径とし、重点整備地区を設定します。詳細について、対象地区の位置と範囲はP17で示しています。
地区の課題と対応策の整理	地区内でバリアとを感じる箇所について整理します。詳細について、P19以降で示します。
その他事項	横浜国立大学建築計画研究室、横浜市常盤台地域ケアプラザ、常盤台地区連合町内会の三者合同ワークショップ企画の中で取り上げたため、バリアフリー勉強会や点検町歩きを実施。様々なテーマで行なっているため地域包括ケアへの一体的な展開が期待される。

※2 横浜市バリアフリー基本構想作成等の提案の手引き等を参照し、必要事項を記入する。

※3 重点整備地区の位置・範囲、生活関連施設・経路がわかる図面等を添付する。

3 基本構想策定により高齢者・障害者等の移動等の円滑化に寄与できる点

羽沢横浜国大駅、横浜国立大学間の基本構想策定により、周辺的生活関連施設及び生活関連経路において重点的かつ一体的な整備が実現され、バリアの少ない住環境、通学路が整備される。

※4 上記各項について、記入欄が足りない場合は任意の別紙に記入し添付する。

羽沢横浜国大バリアフリー基本構想 素案

常盤台地区・羽沢南地区

2019年2月13日

目次

I	羽沢横浜国大バリアフリー基本構想（素案）の策定にあたって	1
I-1	策定の背景と目的	1
I-2	本構想の特色	1
I-3	提案主体	1
II	羽沢周辺地区の概況	3
II-1	概況	3
II-2	施設の分布状況	6
II-3	まちづくり関連プロジェクト	8
	1. 羽沢横浜国大駅開設の概要	8
	2. 常盤台まちづくりワークショップ	9
III	重点整備地区の設定	11
III-1	重点整備地区の範囲及び生活関連経路の検討	11
	1. 生活関連施設の選定	11
	2. 生活関連経路の設定	14
	3. 重点整備地区の範囲設定	16
IV	重点整備地区の課題と対応の考え方の整理	19
IV-1	常盤台地区のバリアフリーに対する市民からの意見	19
	1. まちあるき点検ワークショップ	19
IV-2	生活関連施設と生活関連経路の課題と対応の考え方	67
	1. バス停	67
	2. 生活関連経路	68
	3. 公園	73
	4. 建築物	73

1 羽沢横浜国大バリアフリー基本構想（素案）の策定にあたって

1-1 策定の背景と目的

本基本構想素案は、バリアフリー法第27条にもとづき、利害関係者が市町村に提出するものであり、平成31年下期に開業の予定されている「羽沢横浜国大駅」を一端とした地域のバリアフリー基本構想を提案するものである。

「羽沢横浜国大駅」開業に伴い、周辺の住宅地や横浜国立大学等の生活関連施設から、通学・通勤をはじめ沢山の人がこの新駅へ行き来することとなるが、駅周辺道路の現状は狭隘でしかも急勾配な坂道が多く、高齢化が進む地域住民や体の不自由な方、乳幼児等が通行するには過酷な環境にある。このため、当地区におけるバリアフリー基本構想を策定したい。地域住民が主体となって、常盤台地域ケアプラザ、コミュニティハウス、横浜国立大学等の協力を得て、住民主体による検討とその結果としての提案をまとめ、すべての人に利用しやすい地域環境と公共交通機関になるように環境整備をしていくために策定したい。

1-2 本構想の特色

1) 新駅開業前の取組み

従来のバリアフリー基本構想活動は、既設の乗降客実績の多い駅を中心とした範囲を対象としてきたが、本構想では、開業前から取り組む試みであり、様々な既存施設の改修だけではなく、新設における配慮も可能となる。開発前に取り組むものである。

2) 2区に跨る取組み

従来の横浜市内のバリアフリー基本構想は市内の行政区単位で講じられてきた。行政区域にとらわれない生活圏の発想に基づく住民発ならでの取組みである。今回の対象地区は、横浜市における神奈川区と保土ケ谷区の区界地域であり、神奈川区羽沢地区と神奈川区区政推進課、保土ケ谷区常盤台地区と保土ケ谷区区政推進課の連携のもとに進めていくユニークなケースとなる。

3) 横浜国立大学のワークショップを基軸にした取組み

常盤台地域ケアプラザの建設前の2008年前から、横浜国立大学建築計画研究室と常盤台地域ケアプラザ・常盤台地区が協働で、「老後も住み続けられる常盤台地区のまちづくり」をテーマとしたワークショップ活動を展開してきており、今年度のテーマになったのが「羽沢横浜国大駅周辺のバリアフリー基本構想づくり」である。地域住民が主体となり、一住民としての公共施設・大学と連携した一体の地域まちづくり活動の一環としてすすめている取組みである。

4) 「羽沢横浜国大駅周辺まちづくりガイドライン」に沿った取組み

平成27年5月に横浜市と羽沢横浜国大駅周辺まちづくり協議会で策定した「羽沢横浜国大駅周辺まちづくりガイドライン」の中のテーマ3：道路・交通の方針基本理念3「駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまちづくり」を具体化する取組みとなる。

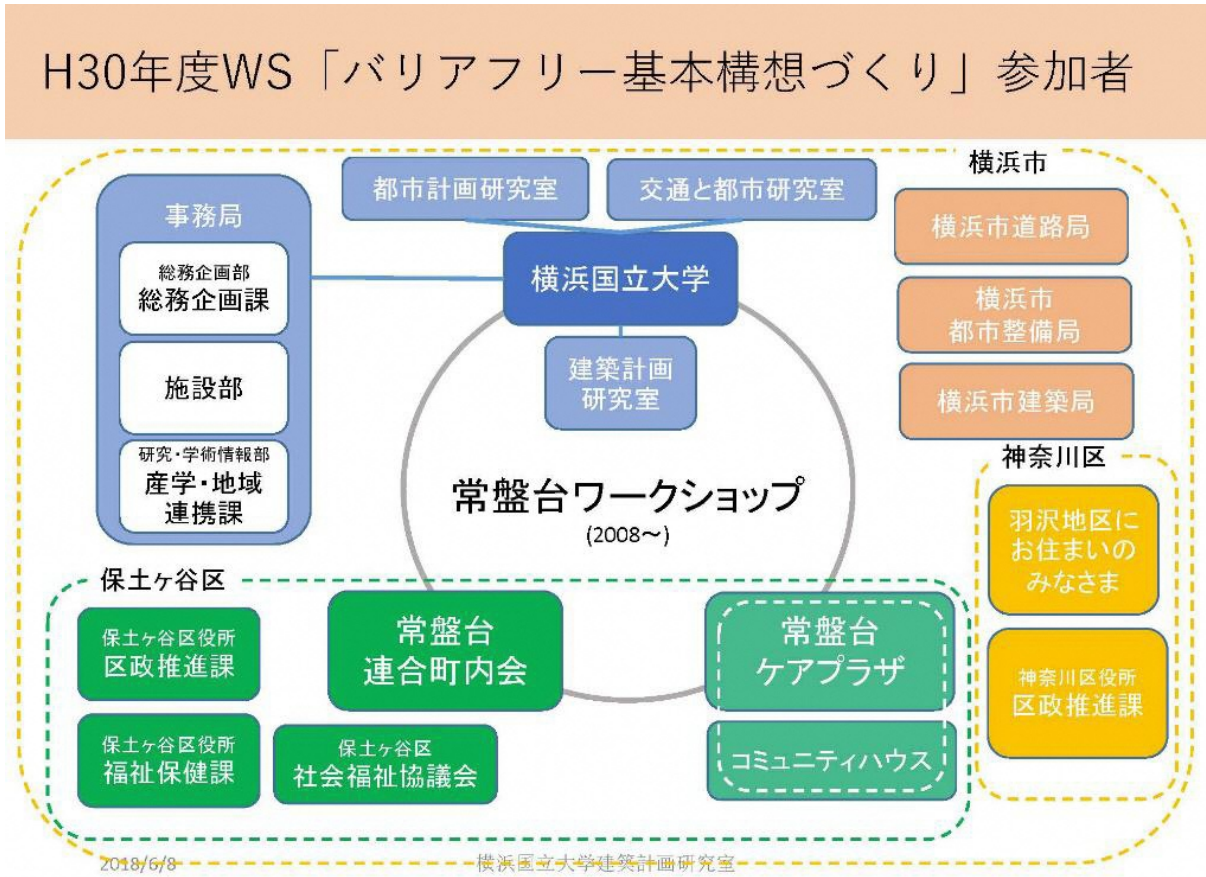
1-3 提案主体

本基本構想は、羽沢横浜国大駅から横浜国立大学キャンパスを含む1km程度の範囲を想定しており、そこにおける地域住民が主体となって、自ら地域の点検をおこない自らの環境を診断し、現状の課題を

分析し、それに対する対応策を考え、提案へと結びつけるものである。

従来実施してきた、老後も住み続けられるまちづくりのワークショップの一環として、地元連合町内会ほか地域住民、常盤台地域ケアプラザ・コミュニティハウス、横浜国立大学が協働して、多様な視点から検討し、構想の素案をつくりあげた。

基本的に、住民主体の構想づくりに徹して作業をおこない、大学の研究室が協力することによってワークショップを開催した。ワークショップにおいては、行政担当者、大学事務局からも情報提供を得て構想づくりを支援してもらっている。



なお、本素案の作成はワークショップ企画運営メンバー（常盤台連合町内会、常盤台地域ケアプラザ、横浜国立大学建築計画研究室）が担当した。

Ⅲ 重点整備地区の設定

Ⅲ-1 重点整備地区の範囲及び生活関連経路の検討

1. 生活関連施設の選定

種別	生活関連施設	選定の理由
旅客施設	1) 羽沢横浜国大駅	<ul style="list-style-type: none"> ・羽沢横浜国大駅は相鉄・JR 直通線であり、JR 直通線開業時に 1 日 1 万人、東急直通線の開業時には 1 日 1 万 6000 人ほどの乗降客数になると予想されている（2017 年 2 月 20 日横浜市会「建築・都市整備・道路委員会」資料より） ・周辺には商業施設や中高層マンションや、駅に隣接した新たなバス乗り場も設置される予定で、地域の新たな交通結節点となることを見込まれることから、生活関連施設として選定する。
文化施設	2) 横浜国立大学附属図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・利用申請をすることで学外の一般市民も自由に貸し出しをすることができるため、生活関連施設として選定する。一階メディアホールでは、一般公開イベントもおこなわれている。
文化施設	3) 横浜国立大学教育文化ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生涯学習に関する事業等を実施するための施設で、公開講座等がおこなわれ、中には YNU ミュージアムがあり広く一般に公開していることから、生活関連施設として選定する。
福祉施設	4) 常盤台地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・常盤台地域ケアプラザは、地域における福祉・保健の拠点となる施設である。居宅介護支援やデイサービス等をおこなっており、通常の介護デイサービスに加えて認知症対応型デイサービス、介護予防型デイサービスをおこなっていることから、生活関連施設として選定する。
福祉施設	5) 常盤台コミュニティハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・常盤台コミュニティハウスは常盤台地域ケアプラザの 2 階にあり、様々なタイプの部屋を選んで借りることができる。地元の小学生や高齢者を対象とした自主事業がおこなわれており、トレーニングやキッズクラブが開催されている。また、未就学児が保護者同伴で遊べるプレイルームがあり、子育て相談会などが定期的におこなわれている。以上より、高齢者、小学生、未就学者とその親等を含む多くの人々が訪れる施設であることから、生活関連施設として選定する
福祉施設	6) 第 3 グループホームもくせい	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 グループホームもくせいは、地域において共同生活を営むのに支障のない障害者に対し、主として夜間において、共同生活を営むべき住居において相談その他の日常生活上の援助をおこなっている福祉施設であることから、生活関連施設として選定する。
福祉施設	7) 特別養護老人ホーム 夢の里	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉を中心に、施設入所サービスと横浜市の委託事業をおこなっている福祉施設であることから、生活関連施設として

		選定する。
福祉施設	8) 特別養護老人ホーム レジデンシャル常盤台	・高齢者介護を目的とした施設入所サービスをおこなっている福祉施設であることから、生活関連施設として選定する。 ・一階部分では地域の交流スペースとして施設の企画する地域向けのイベントだけでなく、地域住民の集会やイベントなどにも開放されている。
福祉施設	9) ひかりの風保育園	・地域との交流を広げるために積極的に園外保育をおこない、地域の方々との挨拶や情報交換を大切にしている。さらに、園庭開放時には利用者に対して子育て情報を提供するなど子育て支援機能も担っていることから、生活関連施設として選定する。
福祉施設	10) 特別養護老人ホーム ラポール三ツ沢	・高齢者介護を目的とした施設入所サービスをおこなっている福祉施設であることから、生活関連施設として選定する。 ・地域交流スペースでは地域住民の集会・イベント利用もある。
福祉施設	11) 森のルーナ保育園	・地域子育て支援として、地域交流保育や一時保育利用をおこなっていることから、生活関連施設として選定する。
福祉施設	12) 聖ヶ丘教育福祉専門学校附属育和幼稚園	・年間を通して、特別養護老人ホーム夢の里や常盤台地域ケアプラザに訪問したり、生活発表会の披露をおこなったりすることで、園内だけでなく地域住民との交流をしていることから、生活関連施設として選定する。
医療施設	13) JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院	・複数の診療科のある医療施設であり、患者 240 人ほどを収容できる入院施設でもある。患者サポートセンターと訪問介護ステーションも備えており、地域医療機関と連携した医療の提供や在宅患者の看護・介護の支援をおこなっている。また、救急医療施設としても機能している。このため、生活関連施設として選定する。
医療施設	14) 船員保険健康管理センター	・働く人および地域住民の健康を管理するため、健康診断や人間ドックをおこなっている。また、巡回検診車により直接地域や騎乗を訪問して検診することから、生活関連施設として選定する。
医療施設	15) 田辺薬局	・近隣の医療施設と連携して患者に調剤していることから、生活関連施設として選定する。
医療施設	16) 釜台薬局	・近隣の医療施設と連携して患者に調剤していることから、生活関連施設として選定する。
医療施設	17) 訪問薬樹薬局保土ヶ谷	・近隣の医療施設と連携して患者に調剤している。また、訪問サービスステーションとして在宅医療を提供していることから、生活関連施設として選定する。
医療施設	18) みなみ薬局保土ヶ谷店	・近隣の医療施設と連携して患者に調剤していることから、生活関連施設として選定する。
医療施設	19) ときた内科クリニック	・内科、小児科、循環器科を備えている医療施設であることから、

施設	ク	生活関連施設として選定する。
医療施設	20) ローズ調剤薬局	・近隣の医療施設と連携して患者に調剤していることから、生活関連施設として選定する。
医療施設	21) 杉本歯科医院	・歯科を備えている医療施設であることから生活関連施設として選定する。
医療施設	22) なかむら歯科医院	・歯科を備えている医療施設であることから生活関連施設として選定する
医療施設	23) 医療法人社団静心会常盤台病院	・精神科を備えている医療施設であり、入院治療だけでなく、外来での通院治療、開放的な昼間だけの通所治療に力を入れていることから、生活関連施設として選定する。
公園等	24) 常盤台子供の遊び場	・常盤台子供の遊び場には遊具があり、小学生を中心として不特定多数の市民が利用する施設と考えられることから、生活関連施設として選定する。
公園等	25) 羽沢長谷公園	・羽沢横浜国大駅に併設していることから、不特定多数の市民だけでなく、羽沢横浜国大駅から訪れる人もいると考えられることから、生活関連施設として選定する。
公園等	26) 羽沢長谷第三公園	・横浜国立大学の「ほどワゴン」が訪れていると認知されており、不特定多数の市民が利用する施設と考えられることから、生活関連施設として選定する。
公園等	27) 羽沢子供の遊び場	・遊具があり、小学生を中心として不特定多数の市民が利用する施設と考えられることから、生活関連施設として選定する。
公園等	28) 羽沢長谷第二公園	・遊具があり、小学生を中心として不特定多数の市民が利用する施設と考えられることから、生活関連施設として選定する。
公園等	29) つつじ公園	・植栽が豊かであり、不特定多数の市民が利用する施設と考えられることから、生活関連施設として選定する。
公園等	30) 横浜国立大学	・横浜国立大学は教育施設であるとともに地域に開かれた自然豊かな公園のような場所でもあり、ウォーキングコースやベンチを設けていることで日常的に不特定多数の市民の憩いの場となっていることから、生活関連施設として選定する。
その他	31) 常盤台北部自治会館	・常盤台北部町内会の自治活動の拠点施設であることから、生活関連施設として選定する。
その他	32) 常盤台西部自治会館	・常盤台西部町内会の自治活動の拠点施設であることから、生活関連施設として選定する
その他	33) 羽沢長谷自治会館	・羽沢長谷町内会の自治活動の拠点施設であることから、生活関連施設として選定する。
その他	34) 桜美林ハイツ自治会館	・自治活動の拠点施設であることから、生活関連施設として選定する。
その他	35) 横浜常盤台郵便局	・郵便、貯金、保険など市民の生活の基盤となるサービスを提供

他		していることから、生活関連施設として選定する。
その他	36) 横浜国立大学第一食堂	・リーズナブルな価格で様々な種類の食事を提供しており、学生だけでなく不特定多数の市民にも利用されていることから、生活関連施設として選定する。
その他	37) 横浜国立大学第二食堂	・リーズナブルな価格で様々な種類の食事を提供しており、学生だけでなく不特定多数の市民にも利用されていることから、生活関連施設として選定する。
その他	38) 横浜国立大学図書館 カフェ Shoca.	・横浜国立大学附属図書館 1 階にあり、不特定多数の市民にも利用されていることから、生活関連施設として選定する。
その他	39) 横浜国立大学学生会館	・書籍や文具、食料品などを販売する売店とキャッシュコーナーがあり、学生だけでなく不特定多数の市民にも利用されていることから、生活関連施設として選定する。

2. 生活関連経路の設定

生活関連経路	選定の理由
1) 羽沢横浜国大駅～医療法人社団静心会常盤台病院	羽沢横浜国大駅～医療法人社団静心会常盤台病院間の主要な経路であり、医療法人社団静心会常盤台病院は規模の大きい精神科病院であるため相当数の患者が利用することが考えられるため、生活関連経路として設定する。
2) 医療法人社団静心会常盤台病院～常盤台北部自治会館	常盤台北部自治会館～医療法人社団静心会常盤台病院間の主要な経路であり、医療法人社団静心会常盤台病院は規模の大きい精神科病院であるため相当数の患者が利用することが考えられるため、生活関連経路として設定する。
3) 常盤台北部自治会館～ひじりが丘バス停	常盤台北部自治会館を利用するための主要な経路であり、多くの住民の利用が考えられるため生活関連経路として設定します。
4) ひじりが丘バス停～横浜国立大学	横浜駅から通学する横浜国立大学の学生の主要な通学路であるため生活関連経路として設定します。
5) 羽沢横浜国大駅～羽沢長谷公園	羽沢長谷公園を利用するための主要な経路であり、多くの子ども連れの家族や高齢者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
6) 羽沢長谷公園～つつじ広場	つつじ広場を利用するための主要な経路であり、多くの子ども連れの家族や高齢者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
7) つつじ広場～羽沢長谷第三公園	羽沢長谷第三公園を利用するための主要な経路であり、多くの子ども連れの家族や高齢者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。

8) 羽沢長谷第三公園～釜台住宅第二バス停	羽沢長谷公園を利用するための主要な経路であり、多くの子ども連れの家族や高齢者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
9) 釜台住宅第二バス停～JCHO 横浜保土ケ谷中央病院	JCHO 横浜保土ケ谷中央病院を利用する方の主要な経路であり、相当数の高齢の患者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
10) JCHO 横浜保土ケ谷中央病院～常盤台地域ケアプラザ	JCHO 横浜保土ケ谷中央病院、常盤台地域ケアプラザを利用する方の主要な経路であり、相当数の高齢の患者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
11) 羽沢長谷公園～羽沢長谷第二公園	羽沢長谷公園、羽沢長谷第二公園を利用するための主要な経路であり、多くの子ども連れの家族や高齢者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
12) 羽沢長谷第二公園～杉本歯科医院	杉本歯科医院を利用するための主要な経路であり、多くの子どもや高齢者など幅広い世代が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
13) 杉本歯科医院～西釜台バス停	西釜台バス停～杉本歯科医院間は、杉本歯科医院に訪れるための主要な経路であり、子どもや高齢者、学生など様々な患者が利用することが考えられるため、生活関連経路として設定します。
14) 西釜台バス停～横浜国立大学西門	常盤台地域ケアプラザを利用するための主要な経路であり、相当数の高齢者が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
15) 横浜国立大学北門～横浜国立大学西門	横浜国立大学の北門、西門は横浜国立大学の主要な出入り口であり、多くの学生や住民の方が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
16) 釜台住宅第三バス停～横浜常盤台郵便局	釜台住宅第三バス停～横浜常盤台郵便局間は、横浜常盤台郵便局に訪れるための主要な経路であり、子どもや高齢者、学生など様々な世代の住民が利用することが考えられるため、生活関連経路として設定します。
17) 横浜常盤台郵便局～釜台住宅第二バス停	横浜常盤台郵便局～釜台住宅第二バス停間は、横浜常盤台郵便局に訪れるための主要な経路であり、子どもや高齢者、学生など様々な世代の住民が利用することが考えられるため、生活関連経路として設定します。
18) 釜台住宅第二バス停～横浜国立大学西門	釜台住宅第二バス停～横浜国立大学西門間は、横浜国立大学に訪れるための主要な経路であり、学生をはじめとした様々な世代の住民が利用することが考えられるため、生活関連経路として設定します。

19) 横浜国立大学西門～横浜国立大学東通用門	横浜国立大学の西門、東通用門は横浜国立大学の主要な出入口であり、多くの学生や住民の方が利用することが考えられるため生活関連経路として設定します。
20) 横浜国立大学東通用門～ひかりの風保育園	横浜国立大学、ひかりの風保育園を利用する主要な経路の一つであり、学生をはじめとした様々な世代の住民が利用することが考えられるため、生活関連経路として設定します。

3. 重点整備地区の範囲設定

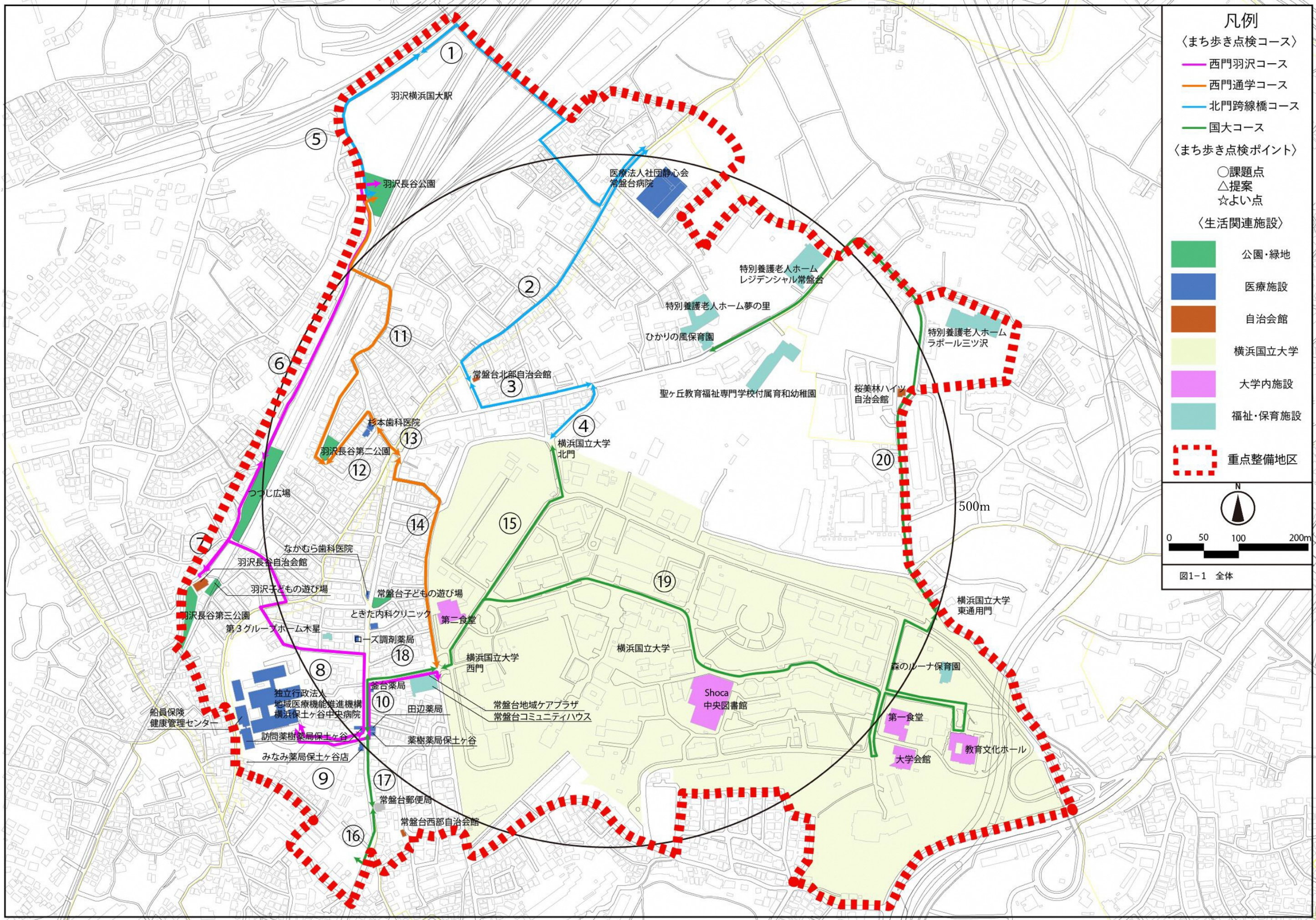
(1) 重点整備地区の範囲の基本的な考え方

重点整備地区とは、地区全体の面積がおおむね 400ha 未満の地区であって、生活関連施設が 3 以上所在し、かつ、当該施設を利用する相当数の高齢者、障がい者等により、当該施設相互間の移動が徒歩でおこなわれることが見込まれる地区であり、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する必要があると認められる地区をいう。

重点整備地区の境界は、可能な限り市町村の区域内の町境・字境、道路、河川、鉄道等の施設、都市計画道路等によって明確に表示して定めることが必要である。

(2) 羽沢横浜国大駅周辺地区の重点整備地区の範囲

羽沢横浜国大駅周辺地区の重点整備地区の範囲は、先に選定した生活関連施設を含む範囲とする。具体的な範囲は以下に示す通りである。



凡例

〈まち歩き点検コース〉

- 西門羽沢コース
- 西門通学コース
- 北門跨線橋コース
- 国大コース

〈まち歩き点検ポイント〉

- 課題点
- △提案
- ☆よい点

〈生活関連施設〉

- 公園・緑地
- 医療施設
- 自治会館
- 横浜国立大学
- 大学内施設
- 福祉・保育施設
- 重点整備地区

0 50 100 200m

500m

図1-1 全体

○5. 地区全体に対する意見・要望まとめ

【道路に関して】

- ・ 3D ホログラム、マッピング等の技術で歩道を整備
- ・ 道路を広くし、歩道をふさいでいる電柱を整備
- ・ バリアフリーの道路を新しくつくる
- ・ 大池道路と新駅をトンネルでつなげる
- ・ 大池道路と新駅までのアクセス道路を設ける
- ・ 横浜国立大学へのサインをたてる

【スクールゾーンに関して】

- ・ 環状二号線に抜けるので交通量多い
- ・ 横浜国立大学の学生が本当に通るのか疑問
- ・ 人通りが少ない
- ・ 道がどんどん狭くなる
- ・ 街灯が少ない

【バスに関して】

- ・ 大池道路の危険な箇所にあるバス停をずらす
- ・ コミュニティバスやミニバスを通す

【施設に関して】

- ・ 適当な場所にトイレをつくる。きれいなトイレをつけるときれいに保てる

【マネジメントに関して】

- ・ イベントとして見回りをおこなう（月1以上）、西釜台での見守り（学校、保護者、OBのおじいちゃん）
- ・ 横浜国立大学の学生利用が多く時間集中しそうなので、いろんなルートで分散させる

○6. 羽沢横浜国大駅に対する意見・要望まとめ

駅周辺指摘箇所	要望	詳細
1) 羽沢横浜国大駅構内	ホームドアの設置。	バリアフリー法の基本方針に、ホームドア設置の促進が促されている。
	車いす用の広い改札口の数を増やす。	車いす利用者が余裕をもって通行できる幅 900mm 以上の改札がのぞまれる。
	大きい文字を使ったわかりやすい案内板の設置。	公共交通機関の旅客施設・車両等に関するバリアフリー整備ガイドラインに、蝕知案内板などのバリアフリー対応の案内板設置が推奨されている。
	大丸橋と跨線橋の双方からのアクセスができる出入口の設置。	
2) 羽沢横浜国大駅交通広場	バス停やタクシー乗り場にベンチを設置し、場所を広くとる。	
	バス停やタクシー乗り場への段差をなくし、一貫した点字ブロックを整備する。	
	大きい文字を使ったわかりやすい案内板の設置。横浜国立大学周辺、JCHO 保土ヶ谷中央病院、近隣の公園への案内をする。	公共交通機関の旅客施設・車両等に関するバリアフリー整備ガイドラインに、蝕知案内板などのバリアフリー対応の案内板設置が推奨されている。
3) 羽沢横浜国大駅周辺道路	歩道橋と駅舎の接続に段差をなくす。	
	歩行者信号の表示時間が長く、音響装置付きのバリアフリー対応型信号機の設置。	
	マンホールや排水溝が少なくフラットな周辺歩道の整備。	
4) 羽沢横浜国大駅周辺施設	一般車や送迎車用の駐車場、自転車置き場の設置。	
	犯罪防止のために交番の設置。	
	行政サービスセンターの設置。	
	羽沢横浜国大駅から常盤台地域ケアプラザまでコミュニティバスを整備。	
	コミュニティハウスや羽沢町内会館の設置。	

IV-2 生活関連施設と生活関連経路の課題と対応の考え方

1. バス停

1) 西釜台バス停

まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
交差点がすぐ近くにあり、車が歩道にはみだす形で通行することがある。		縁石とカーブミラーの新設	
横断歩道を渡るのか、バスを待っているのか判断しにくい位置にバス停がある。また見通しが悪い。		<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の位置の変更 ・危険表示のサイン ・スピードでやすいので速度制限（道路に凸凹をつける） ・横断歩道のひきなおし ・入ってすぐの十字路にも横断歩道を *並び方の工夫 *自治会の掲示板にバス停の並び方を示すサイン *縁石の上に並ぶ 	

2) ひじりが丘バス停

まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
バス停の幅が狭い		バス停の位置をずらす	

3) 釜台住宅第2バス停

まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・バス待ちの行列が歩行者の通行を妨げている。 ・壁があることで細い裏の通路ができてしまっている。 		JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院の看板が埋め込まれている壁を撤去し、歩行者動線とバス待ち動線が交わらないような位置にバス停を移動	

2. 生活関連経路

1) 経路1：羽沢横浜国大駅～医療法人社団静心会常盤台病院

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
新駅近くの歩道	歩道から車道に向けて傾斜しており、車椅子・ベビーカーはハンドルとられる。	傾斜3° (1/30)	平らに舗装する。危険箇所を周知しておいて、注意喚起・手助け	建築物移動等円滑化誘導基準ではスロープ勾配は屋外の場合 1/15以下が基準となっている。
跨線橋	傾斜があり車いすを押すのに力がある。	スロープの傾斜6° (1/15)	平らに舗装する。危険箇所を周知しておいて、注意喚起・手助け	建築物移動等円滑化誘導基準ではスロープ勾配は屋外の場合 1/15以下が基準となっている。
	跨線橋に凹凸があり、車椅子が躓く。溝があり、レールにはまる。		平らに舗装する。	
跨線橋南側道路	道路に信号・歩道がなく白線が消えている。また、車がスピードを出すので危ない。		白線を引き直す。 車道をくねらせてコミュニティ道路にする。 車がスピード出しすぎないように道路表面に凹凸をつける。 道路を拡幅する。 モラルを持って車両を走らせる。 注意喚起の看板設置。	
	跨線橋南側道路に駅直結の出口をつくる			
	跨線橋南側道路のT字路で車いすが通れない		段差を平らにする。 ライン、電柱の位置を変える。 各町内会で街灯設置。	
	傾斜が急で道路幅が狭く街灯が少なく、ベビーカー・車椅子を押すのがきつい。	傾斜10° (1/9)	トンネルを掘って平坦な歩道をつくる(歩行者専用道路)	建築物移動等円滑化誘導基準ではスロープ勾配は屋外の場合 1/15以下が基準となっている。
医療法人社団静心会常盤台病院前	車道と歩道の上に段差があり、車椅子ではあがれない。	車道と歩道の上に3~5cmの段差。	車いす用のスロープを作る。	

2) 経路2：医療法人社団静心会常盤台病院～北部自治会館

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
	傾斜が急で、交通量が多い。	7° (1/13)	小学生の通学時間帯に横断歩道などに住民ボランティアの見守りの人を置く	建築物移動等円滑化誘導基準ではスロープ勾配は屋外の場合 1/15以下が基準となっている。
北部自治会館前道路	坂を下りた先が大池道路で交通量が多く危険		車いすやベビーカーが飛び出さないように道路に滑り止めをつける。又は一時停止の看板をつける。	

3) 経路3：北部自治会館～ひじりが丘バス停

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
大池道路	樹木が視界の妨げになっている。		所有者と相談	
	歩道と車道の段差が高く、電柱があることでベビーカーや車いすが通行できない。	歩道と車道の段差 205 mm	歩道を車道レベルに高さを合わせ白線によって歩車分離する。または歩道を片側に集約し、歩道を広くとる。電柱を動かす。	

4) 経路4：ひじりが丘バス停～横浜国立大学北門

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
大池道路	樹木が視界の妨げになっている。		所有者と相談	

5) 経路5：羽沢横浜国大駅～羽沢長谷公園

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
新駅近くの歩道	歩道から車道に向けて傾斜しており、車椅子・ベビーカーはハンドルとられる。	傾斜3° (1/30)	平らに舗装する。危険箇所を周知しておいて、注意喚起・手助け	建築物移動等円滑化誘導基準ではスロープ勾配は屋外の場合 1/15以下が基準となっている。

6) 経路6：羽沢長谷公園～つつじ広場

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
羽沢長谷公園	歩道が分かりにくい		歩道を作る	
大丸橋横	白線が消えている		白線の引き直し	
	土砂崩れが心配		・地盤を固める *危険を知らせる貼り紙 *持ち主に勧告	
スクールゾーン	歩道なのかわからない		・歩道の整備 *注意を促す、カラーコーンなど簡易なもので歩道を確保	
	汚水を塞ぐと道が広がるのでは？		道の拡幅	
	鉄板があってでこぼこ		・歩道を整備 ・グレーチングにしてもらう(鉄板すべる) *近づかないように注意	
	歩道に段差がある	最大 4cm の段差	・段差が少なくなるように整備 *近づかないように注意	
	マンションの壁が反り立っていて、暗い		・街灯の設置 *マンションの住人・所有者に声掛けをして明かりつける(室内灯も) *小学生に絵をかいてもらう壁面に(白色・銀色)	
	道が狭く、路上駐車が多い。		・道の拡幅工事 ・カーブミラーの移動 ・JRの土地を少しわけてもらう ・自販機を設置→明かりの代わり *駐車禁止の張り紙、迂回路の提示	
	・道路面が荒い ・車いすやベビーカーは通りづらい		・道路面の整備 *迂回路の提示	

7) 経路7：つつじ広場～羽沢長谷第三公園

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
交差点	一時停止をしない車があり、横断歩道がなく見通しも悪いため危険		・横断歩道・カーブミラーの設置 ・歩行者用の線を分かりやすく *一時停止喚起(張り紙など)	
つつじ広場前道路	歩道のごみ置き場や電柱が歩行の妨げになっている		・ゴミ置き場・電柱の移動 ・歩道を広く(1mほどセットバック) *住民が場所を考える *折り畳みへの声掛け	
	自転車が障害物になっている		駐輪場を付近に設置	
	路上駐車		注意勧告	

8) 経路 8：羽沢長谷第三公園～釜台住宅第二バス停

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
	坂がきつい		・気遣い看板→市民も協力 * 迂回路の提示	
	段差が危ない		段差の解消	
	歩道がない		・車の進行方向を決めてしま う（一方通行） ・歩くスペースに色を付ける	
JCHO 横浜保土 ヶ谷中央病院裏 道路	街灯が少なく、人通りも少ない。		街灯の新設	
大池道路	・バスが通ると見通しが悪い ・交通量が多い			
	・しっかりした（歩きやすい）歩道がない ・電柱が歩行の障害になる		・道路を部分的にでも広げ る。 ・電柱の移動または地中化	
コンビニ横	側溝の網目に車いすの車輪が引っかかる。		・目の細かい網目に変更 * 迂回路の提示	

9) 経路 9：釜台住宅第二バス停～JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
指摘無し				

10) 経路 10：JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院～常盤台地域ケアプラザ

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
接骨院前	段差があり、躓きやすい。	段差が 2 段あり (100mm+100 mm)	段差の解消	
釜台住宅第 2 バ ス停裏	病院に続く歩道が狭く段差もあり、通行で きない。		・段差の解消 ・歩道の拡幅 ・バス停の位置をずらす	
大池道路	・バスが通ると見通しが悪い ・交通量が多い			
	・しっかりした（歩きやすい）歩道がない ・電柱が歩行の障害になる		・道路を部分的にでも広げ る。 ・電柱の移動または地中化	
コンビニ横	側溝の網目に車いすの車輪が引っかかる。		・目の細かい網目に変更 * 迂回路の提示	
コンビニ前	横断歩道が付近になく、道路を渡るのが危 険		横断歩道の新設	
横浜国立大学西 門への道路	横浜国立大学通学者のバイクやその他の通 行車両など交通量が多く、歩行者は前方後 方注意しなくてはならない。		一時停止を設ける	

11) 経路 11：羽沢長谷公園～羽沢長谷第二公園

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
大丸橋手前道路	大丸橋手前の歩道が狭く、段差が多い。車椅子で通行する時に車道側にはみ出してしまう。		・歩道を拡幅する。 ・電柱の位置を変える。 ・段差をなくす(側溝をなくす)	
	ゴミ置き場が歩道に位置している		・住宅側にゴミ置き場を移す。 ・歩道の位置を逆にする *橋とのつながりが欲しい。JRへ要望を。 *住宅側にゴミ置き場を移動	
	車線が消えかかっており、車をはみ出して通行する恐れ有。		車線の引き直し	
	歩道に鉄板があり、雨の日などに滑りやすい。段差になっており、高齢者や車椅子の方の通行の妨げになる。		・鉄板以外の滑りにくいものに変える。 ・道路の凸凹をなおす。 ・ポールをたてる	
	大丸橋手前の道路の見通しが悪い。時間帯によって一方通行となっているが、車の出入りが多く歩行者は常に注意しなければならない。		・標識(時間帯一通)の向きを増やす。 ・線路の屋根を活用し、橋を拡張→歩道に ・カーブミラーを設置。	
大丸橋	交通量が多くスピードを出す車が多い歩道がなく見通しも悪い。		・歩道とカーブミラーを新設する。 ・歩道橋の新設。 ・橋を拡幅 ・目立つような危険を示すサインやライン	
	道幅が狭く、車とのすれ違いが危険		・歩道をつくる ・橋の架け替え	
一方通行道路	私有地のはみだしによる段差が生じており、躓きやすい。		・道路の拡幅 ・境界印を安全なものに(夜光るものとか) ・スロープを作る *植木鉢などの障壁を減らす。	
急傾斜の道路	長い斜面のため雨・雪のとき水が大量に流れる。		排水設備の見直し	

12) 経路 12：羽沢長谷第二公園～杉本歯科医院

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
横浜国立大学内ローソン前道路	段差があり躓きやすい。		段差の解消	
メインストリート	メインストリートとベンチのある段との段差が大きい。	段差 280mm	通路に沿うようにスロープを設ける	
	自転車止めの周辺に点字ブロックがなく視覚障害者の歩行の妨げになる。		自転車止めエリア周辺に点字ブロックの新設	
	点字ブロックの示す方向に直進すると街灯にぶつかる。		点字ブロックの位置をずらす。	
駐輪場手前	バイク止めがあるため、車いすでの通り抜けができない。		車いす用の通路(カーブ付き)を設ける。(西門と同様の通路)	

13) 経路 13：杉本歯科医院～西釜台バス停

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
指摘無し				

14) 経路 14：西釜台バス停～横浜国立大学西門

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
谷津建設横道路	抜け道のため交通量が多く、大池道路のスピードのまま車が細い道に入ってくる。		カーブミラーを両方向に配置。	
横浜国立大学大型水槽実験棟裏道路	舗装のひび割れや未舗装地があり躓きやすい。		私有地なのか行政の管轄なのか明確にし、舗装し直す。	
横浜国立大学沿い	ブロック塀が高く、地震発生時倒れてくる危険性がある。 一部ひび割れなど整備面での課題がある。		横浜国立大学が整備	
	横浜国立大学内の樹木が倒れてくる危険性がある。		横浜国立大学側で樹木の整備を定期的に行ってもらう。	
	道路片側にしか電灯がなく、夜道が暗い。		<ul style="list-style-type: none"> ・電灯の新設 ・感知式の LED 街灯 * 防犯カメラ設置 (実例有) * 見守り、パトロールの強化 * 各家で門灯をつける 	

15) 経路 15：横浜国立大学北門～横浜国立大学西門

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
横浜国立大学内ローソン前道路	段差があり躓きやすい		段差の解消	

16) 経路 16：釜台住宅第三バス停～横浜常盤台郵便局

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
釜台住宅第3バス停付近道路	横断歩道の白線が消えかかっているため、車からは横断歩道の存在を認識しづらい。		白線の引き直し	
クリエイト前歩道	段差があり、かつ歩道が狭い。		歩道の拡幅と段差の解消	
	クリエイト駐車場に続く階段の手前に点字ブロックがなく転落の危険性あり。		点字ブロックの新設	
横浜常盤台郵便局前	横断歩道が付近になく、道路を渡るのが危険。		横断歩道の新設	

17) 経路 17：横浜常盤台郵便局～釜台住宅第二バス停

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
大池道路	電柱や自動販売機が歩道にあり、車道にはみ出す形で歩行することになり危険。		電柱の位置を変える	
接骨院前	段差があり、躓きやすい。	段差が2段あり (100mm+100mm)	段差の解消	
釜台住宅第2バス停裏	病院に続く歩道が狭く段差もあり、通行できない。		<ul style="list-style-type: none"> ・段差の解消 ・歩道の拡幅 ・バス停の位置をずらす 	

18) 経路 18：釜台住宅第二バス停～横浜国立大学西門

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
コンビニ前	横断歩道が付近になく、道路を渡るのが危険		横断歩道の新設	
横浜国立大学西門への道路	横浜国立大学通学者のバイクやその他の通行車両など交通量が多く、歩行者は前方後方注意しなくてはならない。		一時停止を設ける	

19) 経路 19：横浜国立大学西門～横浜国立大学東通用門

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
横浜国立大学化工・安工棟前のベンチ	メインストリートとベンチのある段との段差が大きい	段差 (280mm)	通路に沿うようにスロープを設ける	
横浜国立大学電子情報工学2号棟前	自転車止めの周辺に点字ブロックがなく視覚障害者の歩行の妨げになる。		自転車止めエリア周辺に点字ブロックの新設	
駐輪場前	バイク止めがあるため、車いすでの通り抜けができない。		車いす用の通路(カーブ付き)を設ける。(西門と同様の通路)	
	雑草や落ち葉の整備がされてなく、車いすでの通行がしづらい。		日常的に整備をする	
メインストリート街灯	点字ブロックの示す方向に直進すると街灯にぶつかる。		点字ブロックの位置をずらす	

20) 経路 20：横浜国立大学東通用門～ひかりの風保育園

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
工場前道路(大池道路)	横断歩道協が消えかかっている。		白線の引き直し	
	縁石もなく歩道が狭く歩行が危険		歩道の拡幅	
	私有地と道路の境に段差がある。また整備がされていない。		段差の解消。整備。	
大池道路歩道	歩道が狭い	歩道の幅が最小で530mm	歩道の拡幅	

3. 公園

1) つつじ広場

まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
汚い		・公園の再整備 * 地域の人みんなで掃除 * 町内会にトイレをひとつ要請	

2) 羽沢長谷第二公園

まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
階段手前に段差があり、つまづきやすい。		段差の解消	

4. 建築物

1) 横浜国立大学

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
横浜国立大学北門	北門に柵がありベビーカー・車椅子通れない		北門から車いすが入るのは斜面があって不可能なのでバスで釜台住宅第2バス停から入る	
横浜国立大学西門前	車椅子で門の前までは入れるが、段差があり通行が難しい。		段差の解消	
案内板	案内板がわかりにくい。 トイレの場所を明示してほしい。		案内板の改変	

2) 横浜国立大学内施設

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
横浜国立大学内ロ ーソン	多目的トイレの存在を示すサインがなく、 多目的トイレがあるのかわからない。		サインの新設	
	多目的トイレ内に呼び出しボタンがなく、 緊急時に対応できない。		呼び出しボタンの設置。 緊急時の対応策作成。	
	スロープに対して土留が十分におこなわれ ておらず、スロープに土が流れ込む可能性 がある。		芝生にする。 土留用の柵を設ける。	
	コンビニ前のテラスに手すりや縁石がな く、夜など足元が十分に見えないとき誤っ て転落する危険がある。		縁石や手すりなどを新設	
	スロープに手すりが無い		手すりの新設	
横浜国立大学第一 食堂	多目的トイレの鏡が小さいものしかない。		身鏡の設置。	
横浜国立大学第二 食堂	スロープが付近がなく、多目的トイレもな い。		スロープと多目的トイレの 新設。	
横浜国立大学中央 図書館	1階に多目的トイレがない。2階の多目的 トイレの案内が室内の角にある電話機に 小さく表示されているだけであるため、 わかりづらい。		1階に多目的トイレをつく る。 多目的トイレ案内用の看板 を新設。	
横浜国立大学大学 会館	横浜国立大学大学会館前の舗装が十分にお こなわれていない。		舗装し直す。	
	階段手前に点字ブロックはあるが、風化と 浸食により削れている。		整備	

3) 医療施設

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
JCHO 横浜保土ケ 谷中央病院	病院前の段差が危険。		段差をなくす。迂回路の提 示。	
	舗装が十分におこなわれておらず、凸凹に なっており躓きやすい。		舗装し直す。	
	スロープがきつい。		病院側と協力して整備。	建築物移動等円滑化誘導基準では スロープ勾配は屋外の場合 1/15 以下が基準となっている。
	病院に至るまでの歩道が狭い。		歩道を広げ、すれ違い可能な 個所を設ける。	
	病院入り口のスロープが急。		スロープの整備。	建築物移動等円滑化誘導基準では スロープ勾配は屋外の場合 1/15 以下が基準となっている。
医療法人社団静心 会常盤台病院	病院前の歩道と車道の間段差があり、車 いすでは上がれない。		車いす用のスロープを付け る。	

4) 福祉施設

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
常盤台地域ケアプ ラザ	横断歩道と標識が被っている。		標識の位置をずらす	
ラホーム三ツ沢	コミュニティスペースの入り口に段差があ り、躓きやすい。		段差の解消	

5)自治会館

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
北部自治会館	多目的トイレあるにもかかわらず入り口の段差大きい		多目的トイレをアピールして全面的にバリアフリーに改装し、さらに歩道の段差をなくす。	
羽沢長谷自治会館	多目的トイレがない		<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレの設置 ・休日もトイレを使えるように *町内会にトイレを要請 *地域で掃除ボランティア 	

6)郵便局

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
横浜常盤台郵便局	入り口に段差があり車いすやベビーカーの通行の妨げになる。	段差 35mm	段差の解消	
	入り口に続くスロープ先の幅が狭くL字になっており、特に車いすで中から出る際転落の恐れがある。	スロープ先 入り口幅 910mm	車いすが安全に方向転換できるだけの十分なスペースを設ける。	

7)保育園

指摘箇所	まちあるき点検などにおける主な指摘事項	詳細	対応の考え方(案)	備考
ひかりの風保育園	園入り口の点字ブロック上にプランターがある。		プランターの位置をずらす。	